



糖尿病チェックしてみてください ～糖尿病外来より～

近年、生活習慣の西洋化や日常消費カロリーの減少などから糖尿病の有病者が急激に世界規模で増加しています。日本人を始めとするアジア人は人種的に糖尿病になりやすい素因を持っているため、周囲の人と同じような生活習慣でも、遺伝的な原因から糖尿病を発症する方も少なくありません。つまり、糖尿病は贅沢病とは言い切れなくなっているということになります。日本人に多い2型糖尿病の初期段階では自覚症状がほぼないため、病気の進行に気づかず、合併症が進行してから、口渇、多飲、多尿、体重減少、全身倦怠感、両下肢のしびれ、こむら返りなどの自覚症状が発症し、自身の糖尿病を自覚する方も少なくありません。ご家族や血のつながった親族に糖尿病をお持ちの方は、ご自身の血糖値が高くないか、確認されてもいいかもしれません。

一般的に糖尿病の治療は、「食事7割、運動1割、くすり2割」と言われます。新しい薬剤がどんどん開発されても、まだまだ生活習慣の改善に勝る薬剤は出てきていません。つまり、患者さんご自身に行動していただいて初めて糖尿病診療が前に進む事となります。我々は外来診療、栄養指導、外来糖尿病教室、入院糖尿病教室、糖尿病教育入院を通して、患者さん一人一人と相談して、改善出来る生活習慣の改善ポイントを見つけ出し、対応策を考え、一人でも多くの糖尿病患者さんのお助けになりたいと考えています。

糖尿病の事で何かお困りのことがあれば、どんな些細な事でも構いませんので、当院を御受診ください。



外来糖尿病教室(2013年4月)



内科医長 俵本 和仁
日本糖尿病学会 糖尿病専門医
日本内科学会 認定内科医



まちの保健室を開催します!

日時:9月21日(土)14時～
場所:1階 内科外来待合室
参加講座:「水分補給について」
内容:骨密度、血管年齢などの各種測定
看護師・管理栄養士による医療介護相談
乳がん自己検診指導 など

※要電話予約 申し込み先:宝塚第一病院 ☎0797-84-8811

ぜひご参加ください!



入院受付の窓口がリニューアル!

長らく2階にありました入院の受付窓口が、このたび1階フロアへと移設されました。すでに多くの方にご覧いただいているかと思いますが、今までのカウンタースタイルから、ゆっくりと腰を掛けて手続きしていただけるテーブルスタイルに大幅チェンジ。

場所も正面玄関を入れてすぐですので、とてもご利用しやすくなりました。

これからも一層、患者さんやご家族の方のお役に立てるサービスを心がけてゆきたいと思っておりますので、入院に関するどんなご相談でも、どうぞお気軽にお尋ね下さいませ。

受付時間は今までどおり、

【月曜日 ~ 土曜日 の 9:00から17:00】 でございます。

入院受付一同



眼科、充実しています!

緑内障って怖い病気?失明してしまうの?

いえ、きちんと病気を理解し、早期発見早期治療に務めれば、怖がる必要はありません。当科ではOCT(光干渉断層計)など最新鋭の眼科機器を使い、視野検査はその道のエキスパートである視能訓練士が行い、眼圧測定が苦手な人やお子様には、アイケアという優れ物の眼圧測定器(写真)を使用します。これらの検査とドクターによる診察結果から、患者さん一人一人にあったオーダーメイドな治療を進めます。

緑内障に限らず、あらゆる眼の病気のメカニズムや治療方針を、出来るだけわかりやすくご説明し、患者さんに寄り添った治療を行ってまいります。

どうぞお気軽に眼科を受診下さい。



▲眼圧測定器・アイケア

第5回 宝塚第一病院 地域交流会のおしらせ

日時:10月5日(土)14時~16時

場所:宝塚商工会議所 多目的ホール (ソリオ2、6階)



プログラム

14:00~14:05

挨拶 宝塚第一病院 副院長 大室達也

14:05~15:00

☆講演1 「当院での脊柱疾患の治療について」

宝塚第一病院 整形外科 医師 那須輝

☆講演2 「当院の眼科紹介 並びに新規に導入された機器の紹介」

宝塚第一病院 眼科 医師 浅尾和伸

15:00~16:00

講演と実演「ノロウイルス対策~吐物処理の方法を学ぼう~」

宝塚第一病院 感染管理認定看護師 雪田智子

※要電話予約 申し込み先:宝塚第一病院 地域医療連携室 ☎0797-84-8811

担当:佐々木・福井・荒木

主催:宝塚第一病院 地域医療連携委員会

